

6月27日（月）

きのうは、「大正まつり」にたくさんの方が参加していましたね。みなさんが楽しく過ごせるように、おうちのみなさんだけでなく、今はもう大正小学校や大正幼稚園に自分の子供がいない、先輩のお父さん、お母さん方までが、ずいぶん前から計画を立てて、準備をしてくださっていました。本当にありがたいですね。

さて、今週の途中で6月が終わり、7月になります。

6月は「ふれあい月間」で、心のことを真剣にたくさん考えてきましたが、6月30日が過ぎたら、もう心のことは忘れてしまってよいのでしょうか？（「だめ！」の声、多数）

〇〇月間では、そのことをたくさん考えたり、できることからやってみたりしますが、その後の、〇〇月間ではない時の方が、実は大切なのです。時々、先生たちも、みなさんが忘れないようにお話をしますが、みなさんも、決してわすれずに、心の元気がなくなったら、必ず大人の人に相談してください。大人は、子供のことからいろいろなことを経験して解決してきているので、みなさんを助けることができます。

先週、心のアンケートに取り組んでもらいました。正直に書けた人も、少し心配なことがあって正直に書くことができなかつた人もいるでしょう。みなさんが、いやだなと思っていることや、先生たちがやめてほしいと思っていることを紹介します。

いじめ 絶対にしてはいけません

いじわる いじめとは少し違いますが、された人はとてもいやな気持ちになります

いたずら 「ちょっとだけ」だと思っても、された人はそうは思いません

からかい 遊んでいるつもりでも、笑われた人の気持ちはくしゃくしゃです

わるぐち 言った人もよい気持ちはしないし、言われた人の心には、その言葉が残ります

ぼうりよく ぜったいに手や足、その他を使って攻撃してはいけません

けんか 「ごめんなさい」と後で謝ればよいのではなく、しない方がよいです

かってに 「いいよ」と言われていないのに、友達のものを使ったり、別のところに動かしてしまったりするのはいけないことです

わざと わざとぶつかったり、わざといやがらせをしたりするのもいけません

むし これが一番つらいかもしれません。何を言っても聞かないふりをされたり、そこにいないのにいないようにされたりすると、とても悲しい気持ちになります

私も、この言葉をカードに書いていて、とてもいやな気持ちになってしまいました。

もしも、あったら、全部なくしたいですね。

ふれあい月間が過ぎても、心のことをわすれないように過ごしましょう。

